

令和 7 年度大学満足度調査結果について

1 調査の概要

(1) 調査の目的・内容

大学生活で経験した教育（教育環境を含む）についての評価を把握し、教育改革等に役立てるための基礎資料とするもの

(2) 調査対象・時期

新 2 年生、新 3 年生、新 4 年生、新 5 年生、新 6 年生

令和 8 年 1 月 6 日（火）～令和 8 年 4 月 13 日（月）

卒業生（最高学年）

令和 7 年 12 月 1 日（月）～令和 8 年 3 月 25 日（水）

(3) 調査方法

WEB アンケート（学務情報システム）

(4) 回答率

全学 60.4%

医学部医学科 70.6%、看護学専攻 54.8%、リハビリテーション学専攻 88.8%、

薬学部 94.3%、経済学部 35.2%、人文社会学部 57.6%、芸術工学部 54.1%、

総合生命理学部 91.7%、データサイエンス学部 62.3%

2 調査結果の集計方法について

調査結果は回答をポイントに換算し平均点をとる方法（大学満足度調査版 GPA）で算出しています。肯定的か否定的かを明確にするよう回答の選択肢を「強く思う」、「そう思う」、「それほど思わない」、「まったく思わない」の 4 段階に設定し、以下のポイントを設定しました。

強く思う	= +3	そう思う	= +1
それほど思わない	= -1	まったく思わない	= -3

その結果、評価点は－3 から＋3 の間の点数となり、次のような意味を持つことになります。

+3.0	全学生が完全肯定したことを意味し、現実にはあり得ないと思われる。
+1.2	+3 が 20%、+1 が 70%、－1 が 10%、－3 が 0% の場合が相当し、極めて肯定的意見が多いことを意味する。
+0.6	+3 が 20%、+1 が 50%、－1 が 20%、－3 が 10% の場合が相当し、かなり肯定的意見が多いことを意味する。
±0.0	肯定的意見と否定的意見が拮抗することを意味する。
－0.6	+0.6 の逆であり、かなり否定的意見が多いことを意味する。
－1.2	+1.2 の逆であり、極めて否定的意見が多いことを意味する。
－3.0	全学生が完全否定したことを意味し、現実にはあり得ないと思われる。

3 評価点に対する総合評価

- ①評価点が+1.2 を超える（極めて満足度の高い）項目については、現時点では特に問題はないこととなりますが、今後も高い評価を受け続けるようにすべきと思われます。
- ②評価点が+0.6 を超える（かなり満足度の高い）項目については、緊急度は低いものの、さらに満足度を高めるべく努めるべきであろうと考えられます。
- ③評価点が 0～0.6 である（不満足というほどではないが満足度が低い）項目については、満足度を高める努力が必要と考えられます。
- ④評価点がマイナスである項目は、早急な対策が必要と考えられます。
- ⑤評価点が－0.6 以下である項目は、特に緊急に対応すべきであると考えられます。

上述の判断を踏まえ、評価点を次のように総合評価しています。

評 価 点	意 味	総合評価
+1.2 を超える	極めて満足度が高い	S
+0.6 を超え+1.2 以下	かなり満足度が高い	A
±0 を超え+0.6 以下	不満足というほどではないが満足度が低い	B
±0 以下で－0.6 まで	満足している者よりも不満足な者の方が多い	C
－0.6 以下	かなり満足度が低い	D

4 項目別学部別評価結果

凡例 A B C ⇒ 当年度 A、前年度 B、前々年度 C

青枠（評価↑）：前年度 C 以下の評価から、当年度 B 以上の評価となった項目

赤枠（評価↓）：前年度 B 以上の評価から、当年度 C 以下の評価となった項目

網掛け部分：C または D 評価である項目

医	薬	経	人	芸	看	理	デ	リ
---	---	---	---	---	---	---	---	---

Q 5 現在の自分について	①名古屋市立大学に入ってよかった	S A A	S S S	A A A	S S s	S S A	S S S	S S A	A A A	S - -
	②大学生活は自分にあっている	S S A	A A A	A A A	S A A	A A A	S S S	A S A	A A A	S - -
	③大学は自分の期待どおりであった	A A A	A A A	B B B	B B B	B B B	A A A	B A B	B B C	A - -
Q 6 大学での目標について	①自分の進みたい職業分野がある	S S S	S S S	A A A	B B A	S A A	S S S	A A A	B B A	S - -
	②大学は自分の将来のためになると思う	S S S	S S S	S S S	S S S	S S S	S S S	S S S	S A S	S - -
	③大学で学んだことで将来を決めたい	S S S	S S S	B B B	B B B	S A A	S S S	A S A	A A S	S - -
	④大学にきた理由を答えられる	S S S	S S S	A A A	A A A	S A A	S S S	A S A	A B A	S - -
Q 7 授業への自分の取り組みについて	①授業に集中できている	A A A	A A A	A B B	A A A	A A B	A A A	A A A	B B B	A - -
	②勉強する意欲がわく	A A A	A A A	B B B	B B B	A A B	A A B	A A A	B B C	A - -
	③いい成績をとりたいと思う	A A A	S S S	A A A	A A A	S A A	S A A	A A A	A S S	S - -
Q 8 これまで受けてきた授業内容（教養教育）について	①やりがいのある授業があって充実している	A A B	A A A	A B B	A A A	A A A	A A A	A A A	B B B	A - -
	②カリキュラム（科目構成・学年配当など）は適切である	A A B	A A A	A A A	A A A	A B B	A A A	A A A	C B A	A - -
	③教養教育で英語を学んで良かった	B B B	A B B	A A A	A A A	B B B	A A A	B B B	B A B	A - -
	④教養教育で多様な価値観にふれることができて良かった	A A A	A A A	A S A	S S S	A A A	A A A	A A A	A A A	S - -
Q 9 これまで受けてきた授業内容（演習、実習等を含む専門教育）について	①知的刺激を感じる授業に出会った	S A A	S S S	A A A	S S S	S S S	S A A	S S S	A A A	A - -
	②カリキュラム（科目構成・学年配当など）は適切である	A A B	A A A	A A A	A A A	A A A	A A A	A A A	C B A	A - -
	③授業で学んだことは自分のキャリア形成に役立つ	S S S	S S S	A A A	A A A	S A A	S S S	A S A	A A S	S - -
	④主体的に学び考える授業に出会った	A A A	A A A	A A A	S A A	S S A	A A S	A S A	A A A	A - -
Q 10 授業への教員の取り組みについて	①理解度を確認しながら授業を進めている	A A A	A A A	B B B	A A A	A A B	A A A	A A A	B B B	A - -
	②教え方は理解しやすい	A A A	A A A	A B B	A A A	A A B	A A A	A A A	B B B	A - -
	③学生の声に耳を傾けてくれる	A A A	A A A	B B B	B A B	B A B	A A A	A A A	C B B	A - -
	④相談しやすい	A B C	B B B	B C B	B B C	B B C	A B A	A A B	C C C	B - -
	⑤授業に熱意をもっている	A A A	A A A	A B B	A A A	A A B	A A A	A A A	B B A	A - -
Q 11 授業の全体的な印象について	①全体として、授業を楽しむことができた	A A A	A A A	A B B	A A A	A A B	A A A	A A A	B B B	A - -
	②いろいろな授業から知的刺激をうけた	A A A	A A A	A A A	A A A	A A A	A A A	A S A	B A B	S - -
	③全体として、これまでのところ大学で授業の経験には満足している	A A A	A A A	A A A	A A A	A A A	A A S	A S A	B B B	A - -
Q 12 事務室・図書館や課外活動について	①大学職員の対応は適切である	A A A	S S A	A A A	A A A	S A A	S A S	A S S	A A A	S - -
	②教室などの学習施設は充実している	B B B	A A A	B B B	B C C	B B B	A A A	B B A	C B C	A - -
	③図書館は充実している	A A B	A A A	A A A	B B B	A A A	A A A	A A A	A B A	A - -
	④食堂・売店の価格や品揃えに満足している	B C C	C C C	C C B	C C C	C C D	B B B	C C C	C C C	B - -
	⑤目的にあった、充実した課外活動ができ、満足している	A A A	A A A	A B B	A A B	A A B	A A A	A A A	B B B	A - -
	⑥課外活動のための備品等は、充実している	A B B	B B B	B B B	B B C	B B B	A A A	B B B	C B B	A - -

質問項目数		32								
今回CまたはD（網掛け部分）の項目数		0	1	1	1	1	0	1	7	0
内訳	前年度もCまたはDであった項目数	0	1	1	1	1	0	1	2	0
	前年度B以上から今回新たにCまたはDになった項目数（赤枠）	0	0	0	0	0	0	0	5	0
前年度CまたはDであったがB以上となった項目数（青枠）		1	0	1	1	0	0	0	0	0

大学満足度調査結果

学部・学年別 回答傾向 自己点検資料

本資料は全学会議の共有資料および各学部の自己点検資料として作成しています。
値は学部・学年別の平均値です（高いほど評価が高い）。

■ シート構成

全学サマリー	8学部×32設問のヒートマップ。各学部「全学年（加重平均）」列を表示。会議投影用。
観点別比較 （各学部名）	設問群（Q5～Q12の8観点）の学部別スコア。レーダーチャートで学部プロフィールを把握。
（各学部名）_学年推移	学部ごとのシート。学年別ヒートマップ＋全学平均との差分。自己点検用。
全学（学年別）	同一学部内での学年推移グラフ＋全設問の傾向自動判定。
元データ	全学レベルでの学年別傾向。学部を超えた学年効果の把握。
	原データ。検証・再集計の基準。

■ ヒートマップの色

	低い（マイナス）
	中間（ゼロ付近）
	高い

■ 算出方法

- ・学部平均は当該学部の全学年の回答者を1人1件として算出した加重平均値です
- ・全学平均は全学部・全学年の回答者を1人1件として算出した加重平均値です
- ・設問群スコア（Q5全体～Q12全体）も同様に回答者ベースの集約値です。
- ・看護学部1年は「リ（リハ）」「看（看護）」の2区分を保持しています。

全学サマリー：学部別 設問ヒートマップ（加重平均）

各学部「全学年」値（回答者数による加重平均）。

	設問	全学	医	薬	経	人	芸	看	理	DS	リ
Q5①	名古屋市立大学に入ってよかった	1.27	1.24	1.28	1.12	1.29	1.32	1.56	1.27	0.95	1.54
Q5②	大学生活は自分にあっている	1.15	1.20	1.00	1.11	1.22	1.17	1.38	1.07	1.07	1.34
Q5③	大学は自分の期待どおりであった	0.66	0.81	0.88	0.53	0.50	0.53	0.89	0.52	0.17	0.80
Q6①	自分の進みたい職業分野がある	1.18	1.88	1.42	0.80	0.50	1.25	1.87	0.96	0.22	1.87
Q6②	大学は自分の将来のためになると思う	1.66	1.92	1.82	1.28	1.39	1.65	2.05	1.73	1.30	1.99
Q6③	大学で学んだことで将来を決めたい	1.16	1.75	1.61	0.46	0.46	1.30	1.63	1.06	0.96	1.59
Q6④	大学にきた理由を答えられる	1.20	1.58	1.22	0.79	1.03	1.44	1.57	1.04	0.69	1.62
Q7①	授業に集中できている	0.70	0.99	0.66	0.63	0.69	0.74	0.67	0.73	0.18	0.72
Q7②	勉強する意欲がわく	0.71	1.03	0.86	0.56	0.55	0.75	0.62	0.85	0.18	0.66
Q7③	いい成績をとりたいと思う	1.15	0.99	1.22	1.15	1.04	1.27	1.28	1.13	1.19	1.34
Q8①	やりがいのある授業があって充実している	0.82	0.97	0.88	0.63	0.80	0.85	0.87	0.94	0.32	0.97
Q8②	カリキュラム（科目構成・学年配当など）は適切である	0.85	0.75	0.90	0.83	1.01	0.76	1.13	1.07	-0.17	0.94
Q8③	教養教育で英語を学んで良かった	0.68	0.57	0.63	0.66	1.01	0.56	0.74	0.56	0.38	0.63
Q8④	教養教育で多様な価値観にふれることができて良かった	1.12	1.07	0.96	1.17	1.39	1.07	1.12	1.04	0.88	1.31
Q9①	知的刺激を感じる授業に出会った	1.31	1.23	1.41	1.19	1.46	1.49	1.22	1.47	0.73	1.20
Q9②	カリキュラム（科目構成・学年配当など）は適切である	0.87	0.84	0.94	0.86	1.05	0.78	1.07	1.02	-0.22	0.86
Q9③	授業で学んだことは自分のキャリア形成に役立つ	1.21	1.53	1.42	0.92	0.93	1.24	1.53	0.96	0.72	1.54
Q9④	主体的に学び考える授業に出会った	1.10	1.13	1.07	0.89	1.24	1.42	1.19	1.04	0.66	1.14
Q10①	理解度を確認しながら授業を進めている	0.73	0.99	0.75	0.56	0.69	0.67	0.95	0.75	0.11	0.86
Q10②	教え方は理解しやすい	0.80	0.99	0.75	0.69	0.84	0.72	1.08	0.93	0.03	0.89
Q10③	学生の声に耳を傾けてくれる	0.69	0.88	0.82	0.49	0.56	0.43	1.04	0.95	-0.02	0.94
Q10④	相談しやすい	0.38	0.74	0.54	0.11	0.04	0.16	0.83	0.70	-0.33	0.52
Q10⑤	授業に熱意をもっている	0.84	1.05	0.80	0.62	0.81	0.90	1.08	1.06	0.17	1.03
Q11①	全体として、授業を楽しむことができた	0.92	0.99	0.94	0.74	0.96	1.01	1.02	1.19	0.32	0.94
Q11②	いろいろな授業から知的刺激をうけた	1.09	1.09	1.18	0.91	1.19	1.18	1.17	1.16	0.50	1.37
Q11③	全体として、これまでのところ大学で授業の経験には満足している	1.04	1.12	1.15	0.80	1.08	1.08	1.17	1.18	0.37	1.14
Q12①	大学職員の対応は適切である	1.07	0.88	1.23	1.02	0.94	1.26	1.30	0.98	0.88	1.23
Q12②	教室などの学習施設は充実している	0.39	0.51	0.70	0.31	0.07	0.24	0.65	0.45	-0.29	0.61
Q12③	図書館は充実している	0.75	0.75	0.69	0.78	0.57	1.10	0.92	0.71	0.61	1.00
Q12④	食堂・売店の価格や品揃えに満足している	-0.14	0.16	-0.18	-0.18	-0.24	-0.54	0.23	-0.44	-0.33	0.46
Q12⑤	目的にあった、充実した課外活動ができ、満足している	0.77	0.86	0.84	0.68	0.72	0.93	0.85	0.67	0.23	0.97
Q12⑥	課外活動のための備品等は、充実している	0.41	0.59	0.55	0.20	0.16	0.53	0.79	0.28	-0.13	0.83

観点別比較：設問群スコア（加重平均）

Q5～Q12の設問群ごとに、回答者数による加重平均で算出された観点スコア。レーダーで学部の特徴を把握。

観点	全学	医	薬	経	人	芸	看	理	DS	リ
Q5全体	1.03	1.09	1.05	0.92	1.00	1.01	1.19	0.95	0.73	1.23
Q6全体	1.30	1.78	1.52	0.83	0.85	1.41	1.76	1.20	0.79	1.77
Q7全体	0.85	1.00	0.91	0.78	0.76	0.92	0.85	0.91	0.52	0.91
Q8全体	0.87	0.84	0.85	0.82	1.05	0.81	0.98	0.90	0.35	0.96
Q9全体	1.12	1.18	1.21	0.96	1.17	1.23	1.27	1.12	0.47	1.18
Q10全体	0.68	0.93	0.73	0.49	0.59	0.58	1.01	0.88	-0.01	0.85
Q11全体	1.02	1.07	1.09	0.82	1.08	1.09	1.09	1.18	0.40	1.15
Q12全体	0.54	0.63	0.64	0.47	0.37	0.59	0.68	0.44	0.16	0.85

